



楽しみながら学ぶ  株式投資帝王学

タカタはTPP妥結への生贄です

全米でタカタのエアバッグがリコール問題で糾弾されています。これは日米TPP交渉が進まない事に業を煮やした、推進派の多国籍企業（IBM、テキサスインスツルメント、ファイザー、ウォールマート、モンサントなど）が仕掛けた事かもしれません。米国内でもTPPの賛成派と反対派があり、反対派の代表は自動車業界（GM、クライスラー、フォードなど）です。代表のGMを、今年2月乗用車の点火スイッチの不具合から、大規模リコール問題で、揺さぶりを掛けました。TPP反対派への圧力です。

全米自動車業界は、TPPが結ばれると安全とサービスの良い日本車に席捲されるので反対をしているのですから、日本車の代表であるトヨタの急加速事故問題を大きく取り上げ、豊田章男社長が米議会の公聴会で証言させられた事がありました。設計上はシロに拘わらず莫大な和解金を払われました。今またタカタのエアバッグリコール問題をきっかけに、ホンダが矢面に立たされています。日本車の安全神話を、揺るがすような事件です。この二つの事件で、米国の自動車業界は有利になり、TPPを受け入れに一步近づいています。

日本国内でもTPPの反対派の代表は、コメ農家、農家を牛耳っている農協、上部組織のJA(全国農業協同組合連合会)です。安倍内閣はJAの解体に執念を燃やし農業を産業化しようとしています。日米共に反対派へ

の圧力を強めています。
ミズーリー州の黒人青年の射殺事件で、白人警察官が不起訴になり、黒人たちの抗議行動が暴動に発展しています。全米の自動車業界に従事する黒人労働者に波及すると大変な事態になります、これも中々決断しない全米自動車業界に対する圧力かもしれません。

日本車の安全神話を崩した、あとは全米の自動車業界がTPPに賛成せよ！とミズーリー州で暴動を起こしているのです。これだけ御膳立てをしたから早くTPPに賛成しなさい。しないとミズーリー州の暴動がまだまだ拡大し自動車メーカーの工場がストップしますよとのメッセージです。

株式市場ではタカタ問題から、TPPで潤う日本のソフト産業、自動車部品、電子部品産業、日本の医療関連などがたくさん買われています。

日本を買おう。
この記事を読んで、
成功させよう！
株式投資を



平成26年11月30日
(株式講演家 三木文佑)

株式講演会の出張講演致します。
少人数でも喜んで。
090-5154-0515